



# ちがさき

CHIGASAKI

第108号

令和4年(2022年)11月1日発行  
社会福祉法人  
茅ヶ崎市社会福祉協議会  
茅ヶ崎市新栄町13-44  
さがみ農協ビル2階  
電話:0467(85)9650  
FAX:0467(85)9651  
Eメール  
eboshi@shakyo-chigasaki.or.jp

ホームページアドレス

<http://www.shakyo-chigasaki.or.jp/>

- 茅ヶ崎市社会福祉協議会(以下:市社協)は、「すべての人が住みなれた地域で安心して暮らすことのできるまちづくり」を進めている民間の福祉団体です。皆さまからの寄附金、賛助会費、共同募金に支えられています。
- 「社協ちがさき」は、点字版、録音版も発行しています。ご希望の方は、市社協までお問合せください。

子どもが変わる!

大人が変わる!!

地域が変わる!!!

## 市社協の福祉教育プログラム



「福祉教育」とは、身の回りの方々や地域との関わりをとおして、そこにどのような福祉課題があるかを学び、その課題を解決する方法を考え、解決のために行動する力を養うことを目的として、社会福祉協議会が推進している取り組みです。

市社協は地域福祉を進めていく組織です。そのために福祉教育を大切に、学校を含めた地域のさまざまな場面で進められる福祉教育を推進・支援しています。プログラムの企画段階からの相談、地域の社会資源や人材をつなぐコーディネートを担っており、地域のさまざまな資源を駆使したプログラム提案をすることができます。ぜひお気軽にご相談ください!

### ～福祉の理解を広げるための プログラム一覧～

■身体障がい者の講話 ■車いす

■インスタントシニア(高齢者疑似体験)

■視覚障がい者の講話 ■アイマスク誘導 ■点字 ■録音

■聴覚障がい者の講話 ■手話 ■要約筆記

■精神障がい者の講話

■知的障がいと自閉症についての理解と疑似体験

### 実施までの流れ

① 目的・内容の検討

② 市社協へ相談

③ 事前打合せ

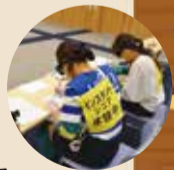
④ 学習の実施

⑤ ふりかえり



### こんなことでお困りではありませんか。

- 街で障がいのある方を見かけた。どうしたら良いんだろう?
- 誰もが気持ちよく過ごせる場所づくりがしたい!
- 職員研修やCSR活動に取り組みたいが、悩んでいる。



プログラム詳細はホームページから閲覧可能です!

茅ヶ崎市社会福祉協議会 福祉教育

検索

※ご依頼は開催希望日の2ヶ月前までをお願いいたします。  
※ご希望の時期によってはお受けできない場合もございます。



### 福祉系研修を開講しています。

- ・介護福祉士実務者研修 2023年4月開講予定
  - ・介護職員初任者研修 2023年5月開講予定
- 場所 茅ヶ崎リハビリテーション専門学校 別館3階  
(茅ヶ崎市南湖1-6-11 茅ヶ崎駅から徒歩18分)

社会福祉専攻科  
2023年4月  
入学生募集中  
(2022年10月より  
願書受付中)

### 【問合せ】

見学も受け付けていますので、お問合せください。  
茅ヶ崎リハビリテーション専門学校  
社会福祉専攻科 Tel. 0467-88-6725  
ふれあい医療福祉研修センター  
Tel. 0467-84-0576



残置物の片付け・買取 専門会社「ANOK」

選ばれて 300 件/年以上

不動産会社様・売主様専用

都市管理法人 ANOK株式会社 0120-940-330 anok.site 検索

※1当社統計による年間案件数 ※2不動産会社・土業の先生・当社利用実績のあるお客様ご本人とその他紹介者様 例外：不動産売却中(検討者含む)の方は直接お問合せ可能

## ～一人ひとりを尊重し、共に見守り支え合い、心豊かに暮らせるまちをつくります～

自分の意思が尊重されること、自分の生活を自分で決めること、人生を尊厳をもって過ごすことは、誰もが当たり前持っている権利です。

しかし、障がいがあることによって、その当たり前の権利が脅かされることがあります。

虐待と聞くと、身近な問題ではないと感じるかもしれませんが、社会における障がいのある人への差別や偏見、無関心と無関係ではありません。

すべての人が「見逃さない・見過ごさない」意識を持つことが、今、求められています。

### 市社協では虐待防止に関する取り組みを始めています

本会が実施する福祉サービスに係る、虐待を防止するための体制を整備することにより、利用者の権利を擁護するとともに、利用者が福祉サービスを適切に利用できるように支援することを目的とし、虐待防止に関する規程を制定し、虐待防止委員会を設置しました。

## 第43回茅ヶ崎市社会福祉大会

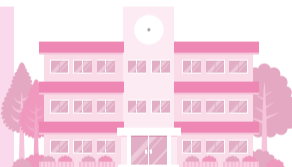
令和4年11月23日に、茅ヶ崎市民文化会館にて「第43回茅ヶ崎市社会福祉大会」を開催します。

第一部では茅ヶ崎の地域福祉の推進に御功績のあった方々(個人・団体)へ感謝の気持ちをお伝えする式典を、第2部では、映画「みんなの学校」の上映を行います。

映画「みんなの学校」は大阪市にある公立学校「大空小学校」が舞台のドキュメンタリー映画です。大空小学校では、特別支援学級の対象となる子ども、自分の気持ちをうまくコントロールできない子ども、みんなと同じ教室で学びます。障がいのある子どもない子ども、すべての子どもが同じ場で学び育ち合う場は、子どもたちだけでなく、その関りから教員や保護者、地域も共に学び育ち合う場となっています。

この映画が、地域で暮らす様々な人の多様性を理解し、受け止め、支え合う「共生社会」について考えるきっかけに、またそのための活動のヒントになればと願っています。

※今年度の社会福祉大会は、新型コロナウイルスの感染防止の観点から関係者のみでの開催とさせていただきます。一般参加は受付しておりませんので御理解ください。



## ～「住み慣れたまちで安心して暮らす」を支える～ 市社協障害者ホームヘルプ事業所 登録ヘルパー募集!

障がいがある方の在宅生活を支えるお仕事です。

職員がサポートしますので、初めての方やブランクがある方でも大丈夫です。

特に「週1日だけ」「短時間だけ」働きたい方、「眠っている資格を活かしたい」方におススメ!

お気軽にお電話ください。一緒に活動しましょう!

- **仕事内容** 市内在住の障がい者の方の居宅介護(身体介護・家事援助・通院介護)及び同行援護、移動支援
- **要件**
  - ・『介護職員初任者研修(旧ホームヘルパー2級)』以上、または『同行援護従業者』の資格をお持ちの方
  - ・市内及び近隣市町在住の方で69歳までの方
  - ・心身ともに健康な方
  - ・自転車での移動が可能の方
- **時給** 1,230円～ その他別途手当等あり
- **お問合せ** 市社協障害者ホームヘルプ事業所：Tel.85-2090

## 障害者週間街頭キャンペーン

国は、障がい者が差別されることなく、あらゆる活動に参加することができる社会の実現を目的として、12月3日(国際障害者デー)から12月9日(障害者の日)までの1週間を「障害者週間」と定めています。

市社協では、障害者週間に下記の内容でキャンペーンを行います。是非、足を運んでください!(イベント開催予定日時点での感染者増加状況等により、開催内容に変更等が生じる場合があります)

- とき** 令和4年12月6日(火) 15時～17時(予定)
- ところ** イオンスタイル湘南茅ヶ崎店 2階アトリウム
- 内容** 障がいのある方が作成した啓発物品の配布、パネル展示



## 第42回 ボランティアまつり ~福祉バザー~

収益金はボランティア活動に活用します

ボランティアまつり~福祉バザー~は、「たんぼぼの綿毛のように、もっとボランティア」をテーマに、市民へ広くボランティア活動への理解を深めるために開催しているものです。

令和4年 **11月23日** 水・祝 10:00-12:00

- 〈新型コロナ感染対策を行い開催します。ご協力をお願いします〉
- ・入場時の検温・手指消毒、連絡先の記入
- ・入場者数を制限させていただく場合があります
- ・会場の換気、開催時間の短縮 など

**ところ** 茅ヶ崎市民文化会館 展示室A・B・C / 練習室1・2・3・4

**内容**

**アトラクションプログラム** 練習室1  
マジックショー  
手話ダンス



**バザー・ボランティア相談** 展示室  
●衣料品、日用雑貨、手作り品、花植木等の販売  
●ボランティア相談  
**体験コーナー** 練習室2・3・4  
点字・アイマスク誘導・車いす体験



共催 茅ヶ崎ボランティア連絡会 / 社会福祉法人茅ヶ崎市社会福祉協議会  
後援 茅ヶ崎市

※新型コロナウイルス感染症の状況により、本事業は中止となる可能性があります。

ここにある、このころ。  
やさしさの通る街、茅ヶ崎



茅ヶ崎市は、市バリアフリー基本構想推進協議会の市民部会と協働で昨年12月から「ここにある、このころ。」を合言葉に「心のバリアフリー」推進に取り組んでいます。

この取組は、今年11月までの間、日常生活の場面での様々な困りごと(バリア)と、それに気づいた人がとった行動を描いたポスター12種類を、月替わりで市内の公共施設等のほか民間施設に掲示するものです。

詳細はこちらをご覧ください。



## 「ここにこクラブ」の電話相談室 「これって認知症? ホットライン」の終了について

認知症になっても安心して暮らせる地域づくり・まちづくりを目指して、認知症の方とご家族やボランティアが一緒になって活動している『ここにこクラブ』では、平成19年8月からボランティアによる電話相談を行っていましたが、令和4年10月末をもって、電話相談を終了しました。

長い間のご利用ありがとうございました。

# みんながつながる ちがさきの地域福祉プラン2



## 基本目標3 支え合う

誰もが安心して暮らせる地域になるように、みんなで課題に取り組み、支え合う仕組みをつくりまします。



### 目指すべき姿



小さな子どもを抱えながら仕事をがんばっているママさん。でも最近、母親が急に倒れて...もう、仕事も続けられないかもと悩んでいます。そこに、子育てのことで気にかけてくれている民生委員さんが訪ねてきてくれました。とても疲れていたママさん、ため息まじりに悩みをこぼすと...  
「ソウか...お子さんの元気な声はしてただけ、一人でおばあちゃんのことがんばってたんだね。」民生委員さんは親身に聞いてくれた後、「ママさん、みんなに助けてもらおうよ!」と提案。地区の

令和3年度スタートの地域福祉の計画では、みなさんと一緒に取り組む目標を3つ掲げています。  
ここでは、計画書に書かれている目標ごとの「目指すべき姿」をピックアップし、イラストとともに紹介しています。今回は3つめ『基本目標3 支え合う』です。  
目指すのは、困った時、身近にちよつと相談する人や窓口があることで孤立せず、安心できるまち。また、誰かの困りごと、地域の人や関係機関等が協力して寄り添い、支え合えるまちの姿です。  
イラストを見てみましょう。

\*計画の冊子は、市社協や市福祉政策課でもお渡りしています。  
ホームページもご覧ください。  
<http://www.shakyo-chigasaki.or.jp/>  
(ダウンロード可)

ネットワーク会議でいつも集まる関係機関や地区ボランティアセンターに相談してくれました。助けてくれる支援や、地区の人ともつながって、ママさんにホッと笑顔が戻りました。  
いろいろな事をひとりではがんばっていると、抱え込み、周りから孤立してしまうことがあります。そんな時は、助けになる人や情報も見えにくくなっていきます。  
そうならないうちに、身近なつながりを作ったり、困りごとを話せる窓口を知らせたり、「ちよつと気になる」を相談し合えるネットワークを地区ごとに結び、孤立をさせず、支え合えるまちを作りたと思っています。  
その時、専門機関だけでなく、身近に暮らす地区の人同士のつながり、周りに目を向け、気づいたことを相談窓口につなげてくださること等が大きな力になります。

## あんしんセンターからのお知らせ 弁護士による 無料!! 成年後見相談

- こんなお困りごとがある方、ぜひ利用してみませんか?
- ・判断能力に疑問がある親族のために、成年後見制度を説明してほしい...
  - ・相続・遺言・後見監督人・後見信託等について知りたい...
  - ・一人暮らしや高齢者世帯で判断能力に自信がなくなった時に備えておきたい...
  - ・任意後見制度ってなんだろう...

と き：偶数月の第1水曜日  
13時15分～16時55分(40分間)  
令和4年12月7日 令和5年 2月1日

ところ：市社協 相談室  
受付：予約制(相談日前月の1日～相談日前日)  
対象：市内在住者・市内在住者を支援する事業所や相談所等  
定員：毎回5名(先着順)  
\*時間の指定はできません。  
\*土日・祝日、年末年始(12月29日～1月3日)は、受付できません。  
お申込・お問合せ 市社協あんしんセンター ☎ (85) 1066

## 送迎ボランティア募集!

市社協では、身体障がいのため外出が困難な車いす利用者を対象に、車いすごと乗れる福祉車両を使用して、通院等の送迎をボランティアさんの協力を得て行っています。

あなたも送迎ボランティアになって、地域の福祉を支えてみませんか?

- (市社協は、道路運送法における福祉有償運送の登録事業者です)
- ◎活動日・時間  
月～金曜日の8時30分～17時で都合の良い時間(祝日、年末年始は除く)  
活動を希望される方は、担当まで電話連絡の上、一度ご来所ください。  
※月1回の活動でも大歓迎です!無理のない範囲で活動できます。  
※希望に応じて活動を見学することもできます。
- お問合せ 月曜～金曜 8時30分～17時15分(祝日、年末年始は除く)  
TEL:85-9650(ハンディキャップ担当まで)

空いている時間を使って、社会貢献ができるボランティアです。  
運転の経験を活かして、ボランティア活動してみませんか。

- 募集条件(以下の①～④を全て満たしている方)
- ①70歳未満の方(定年は満80歳)
  - ②普通自動車免許を保持し、運転経験5年以上の方
  - ③過去2年以内に運転免許停止処分を受けていない方
  - ④国土交通省認定講習(2日間)を受講していただける方
- ※講習費用は市社協で負担します  
※自家用車をお使いいただく「個人送迎ボランティア」も大募集中です!

# ホッと心愛



このコーナーは、市内で福祉活動をされている方や団体にスポットを当てたインタビューコーナーです。

今回は、浜須賀地区のボランティアセンター「サポートはますか」の新しい仲間となった、ボランティアの上原和恵さんにお話を伺いました。看板犬のリリーちゃんをはじめ、サポートはますかの雰囲気と共にお届けいたします！



**\*前号の「社協ちがさき」地区ボランティア行こうの特集(1)をご覧になってボランティアに来てくださったとのことですが、どのようなタイミングで、「社協ちがさき」が届いたのでしょうか？**

看護学校の受験をきっかけにボランティアに興味を持ち始めたところ、広報紙がポストに入っていて「やってみよう」と思ったことだー！と思って連絡しました。もともと誰かのお話をしたりすることが好きで、たが家からも近く、地域に寄り添えるチャンスだなと思いました。



若い世代の人が、こういうことをきっかけに入ってくれるとうれしー！！

**\*「サポートはますか」で、どのような活動からスタートしましたか？ また、「サポートはますか」に入ってみての感想や印象を聞かせてください。**

まずは電話受付のお当番からスタートしました。初めて来てまだ皆さんの名前もわからなかったのですが、楽しくお話しができてうれしかったです。今までしたことないボランティアって難しく考えていたし緊張してたけれど、この雰囲気にごく助けられました。

家でもしている草取りや買い物のお手伝いもあり、私でも出来るんだと感じました。

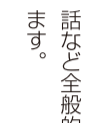


ボランティアだからあまり形を決め込まず、柔軟に考えたいと思います。電話当番など、すぐに協力してもらえることがあるので、いつでもお待ちしています！新しい人が馴染んでくださると嬉しいな。

**\*小学生のお子さん2人の子育てやお仕事もありですが、新たに加わったボランティア活動は上原さんにとってどんなものですか？ また、今後してみたい活動などはありますか？**

ボランティアに行くことを主人も子どもも協力してくれて、子どもはママ、今日はボランティアなんですよーと送り出してくれます。また、ボランティアの方達も仕事や子育てがあることを理解して下さったことが有難かったです。

始めたから急に生活が変わるといってはいないと思うけれど、私は、身近でできる活動が「こただ」って思ってたんですね。目の前で喜んでくれる人がいたらうれしいじゃないですか！



今は、自分も経験した育児中のお母さんの手助けや、高齢の方の買い物や世話など全般的に活動出来るというのと思っています。

**\*自分にもできることがあるかな...と思うておられる方に向けて、メッセージをお願いします。**

新しいことを始めるって勇気がいるし、困っている人がいたら助けたいと誰もが思うているかもしれないけれど、きっかけがないとなかなか動きだせないと思います。でも勇気を出して、まずは行動してみることが大事かなと思います。入ってみたらわかること、感じる楽しさがありますよ。

**\*お仲間の皆さんからも、「サポートはますか」についてお聞きしました！**

「サポートはますか」は最初の頃から男性4割、女性6割の黄金比率！でも、もっと男性も待っています！

ここでは現役時代の会社やボランティア関係ない！みんな同じがいーかな。

当番でなくても、用事がなくても、生活のパートナーになって自然と自転車がつっちに向かっている。みんなが自然に集まってくる。



家族とも会社とも違う関係だけど、それがボランティアセンターの仲間であり、一緒に過ごす時間がホッとする時間になっているよーでした。誰かのために何かしたいと思う気持ち、でも自分にはちょっと難しいかと思う気持ちも、そのまま受け止めてくれるのがボランティアセンターなのかもしれないですね。「サポートはますか」も、お住まいの地区のボランティアセンターも、皆さまのはじめの一歩をお待ちしています！



看板犬のリリーちゃん

広報紙「社協ちがさき」へのご感想や、ご意見・ご要望(「ホッと心愛」でこんな活動をピックアップしてほしい!等)をお寄せください。

eboshi@shakyo-chigasaki.or.jp

## 共同募金運動が始まりました!

じぶんの町を良くするしくみ。

共同募金は、10月1日から開始された「一般募金(赤い羽根共同募金)」と、12月1日から開始される「年末たすけあい募金」の2つの募金から成り立っています。

赤い羽根共同募金は、主には茅ヶ崎市の福祉のために、そして被災地支援にも使われています。年末たすけあい募金は、生活にお困りの方、在宅のねたきり・認知症高齢者の介護者へ民生委員を通じお届けをしています。

また、障害者団体、障害者地域活動支援センター等へも、市社協を通じお届けしています。

茅ヶ崎市では保育園や学校から、自治会や企業からと様々なところから募金にご協力いただいています。あなたの募金が、誰かを支えるための力になり、一人ひとりの力は小さくても、みんなの力が集まると大きな力となります。今年も皆さまのご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。(担当: 県共同募金会茅ヶ崎市支会)

## あたたかいご寄附をありがとうございました

いただいたご寄附は、ボランティアグループ・当事者団体の活動支援等、本会の行う社会福祉事業の充実に活用させていただきます。ご寄附ありがとうございました。

**寄附者ご芳名(敬称略)**

受領期間: 令和4年6月1日 ~ 令和4年9月30日

- 一般財団法人光之村
- 特定非営利活動法人日本入れ歯リサイクル協会
- さがみ農業協同組合茅ヶ崎市果樹部会
- 湘南地区まちづくり協議会
- コミセン部会
- イトーヨーカドー労働組合茅ヶ崎支部
- 小松澤美千代
- 豊嶋正詔
- 小出地区社会福祉協議会

ほか匿名5名

ご寄附は、市社協にて随時受付をしております。

**窓口での受付**

受付時間: 8時30分~17時15分  
(土日・祝日・年末年始を除く)

※窓口への来所が難しい方は、本会が受け取りに伺います。事前にお電話やFAX、メールにてご相談ください。受付時間は、窓口での受付と同様です。

**口座へお振込み**

【振込先】湘南信用金庫 茅ヶ崎営業部 (普) 41349006

シヤカイフクシホウシヤカサキシヤカイフクシキョウカイ  
社会福祉法人茅ヶ崎市社会福祉協議会  
カチヨウ ミスシマシオ夫  
会長 水島静夫

※お振込みを確認した後、本会より領収証及びお礼状をお送りいたしますので、必ず事前にお電話やFAX、メールにてお名前(ふりがな)、ご住所及びご連絡先、お名前公表の可否をご連絡ください。

※寄附者の方は、本会広報紙、本会ホームページ及びLINEでご紹介させていただきます(公表不可の場合は匿名とさせていただきます)。

※お手数ですが、振込手数料はご負担ください。

## 公益社団法人 茅ヶ崎市シルバー人材センター

家庭のお仕事 **お仕事承ります** 企業のお仕事

草むしり、植木の剪定、部屋の掃除、網戸や襖、障子の張り替え など

オフィスの清掃、構内美化、スタッフ補助、業務サポート、企業の補完的な仕事 など

**会員募集** 市内在住の健康で働く意欲のある60歳以上の方

詳しくは、お問合せいただく当センターホームページをご覧ください。

TEL 0467(85)7425 茅ヶ崎市シルバー人材センター 検索

## 歩行困難・寝たきりの方専用 訪問鍼灸マッサージを体験してみませんか?

☆始めるにあたり医師の同意書が必要です  
☆一月に3名のみ無料体験可能です  
☆担当が施設・ご自宅にお伺いします  
☆電話が取れない場合、後で携帯電話から連絡します

**電話 0467-85-0385**  
はり灸まっさーじ工房まどか 担当 市川